

VCS Expressway のコールがローカル (非トラバーサル) コール ライセンスを使用するのはいつですか。

内容

概要

[VCS Expressway のコールがローカル \(非トラバーサル \) コール ライセンスを使用するのはいつですか。](#)

関連情報

概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway に関連しています。

Q. VCS Expresswayのコールでローカル (非トラバーサル) コールライセンスを使用するのはいつですか。

A.トラバーサルコールは、VCSがメディアとシグナリングを受け取るコールです。通常、VCS Expresswayは、コールをルーティングするためにトラバーサルコールライセンスを必要とします。これは、VCS Expresswayに直接登録されたデバイス間のコールに対しても必要です。これは、ファイアウォールの背後にあるエンドポイントでは、メディアがコールのエンドポイント間でルーティング可能であることを保証するために、VCS Expresswayがメディアを送受信する必要があるためです。

VCS Expresswayを通過するコールがローカル (非トラバーサル) コールとして分類される唯一の状況は、次のとおりです。

- SIPからH.323へのインターワーキングは不要で、
- IPv4からIPv6へのインターワーキングは必要なく、
- コールがVCS Expresswayからトラバーサルゾーンを経由してルーティングされていない。
- どちらのエンドポイントもトラバーサルが有効ではない (つまり、エンドポイントが AssentまたはH.460.18/19に登録されておらず、どちらのエンドポイントもAssentまたはH.460.18/19を要求するコールを発信していない)
- コールの送信元と送信先：ワイドエリアネットワークに直接接続されたエンドポイントまたはネイバーゾーン、またはビデオコールをサポートするSIPまたはH.323アプリケーションレベルゲートウェイ(ALG)を備えたファイアウォールの背後にあるエンドポイントまたはネイバーゾーン (エンドポイントがワイドエリアネットワークに直接接続されているように見える) ローカルに登録されたICE対応エンドポイント (VCSバージョンX5以降を使用している場合)

注：ファイアウォールトラバーサルを支援するために、すべてのTANDBERGエンドポイントがトラバーサル有効になっているため、コールに関係するエンドポイントの少なくとも1つが

TANDBERGエンドポイントの場合は常にトラバーサルライセンスが必要です。

注：VCS Expressway上の非トラバーサルコールは、使用できる非トラバーサルコールライセンスがない場合（VCSバージョンX5以降を使用している場合）は、トラバーサルライセンスを消費します。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)